

「プロ野球観戦時の SNS 投稿に関する新ルール」十分に理解しているのは何割？

J:COM が「プロ野球観戦時の視聴傾向と SNS 利用の実態」に関する調査を実施！

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、週に 1 回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している 20 代~60 代の男女を対象に「プロ野球観戦時の視聴傾向と SNS 利用の実態」に関する調査を実施しました。

<背景>

近年、スポーツ観戦のスタイルは大きく変化しつつあります。テレビだけでなくスマートフォンやタブレットなど多様なデバイスで視聴する人が増え、またリアルタイム視聴だけでなく、見逃し配信やハイライトを活用する視聴スタイルも定着しつつあります。さらに、SNS の普及により、試合のハイライトや選手のプレーをシェアしたり、ファン同士が交流したりする場面も増えており、従来の「観戦」の概念が大きく変化しているものと考えられます。また、スポーツ観戦時の SNS 利用については、2025 年 2 月にプロ野球観戦時の写真・動画の SNS 投稿に関する新ルールが施行され、観戦者の SNS 利用にどのような影響を与えるのかも注目されています。

そこで、2025 年シーズンもプロ野球公式戦の全試合を生中継で放送することが決定した J:COM は、「プロ野球観戦時の視聴傾向と SNS 利用の実態」に関する調査を実施しました。

<調査サマリー>

- ・映像でのプロ野球観戦では、8 割以上の人が「テレビ」を使用しており、約 4 割の人は、テレビと他のデバイスを併用して視聴している
- ・映像でプロ野球観戦をする際、「リアルタイム」で見る人が圧倒的に多い
- ・2025 年 2 月に変更された、プロ野球観戦時の写真・動画の SNS 投稿に関する新ルールについて理解している人は約 6 割にとどまり、約 4 割が十分に理解していない。
- ・SNS でプロ野球関連の写真や動画を見ていた理由のトップ 3 は、1 位「試合のポイントをハイライト的に見られるから」、2 位「映像に映らない試合の動きが見られるから」、3 位「リアルタイムに情報が得られるから」
- ・SNS でプロ野球関連の写真や動画をアップしていた理由のトップ 3 は、1 位「個人的な観戦記録、備忘録として」、2 位「野球観戦の面白さ、楽しさを伝えたいから」、3 位「球場の雰囲気、盛り上がりを共有したいから」

<調査概要>

調査期間:2025 年 3 月 11 日~3 月 13 日

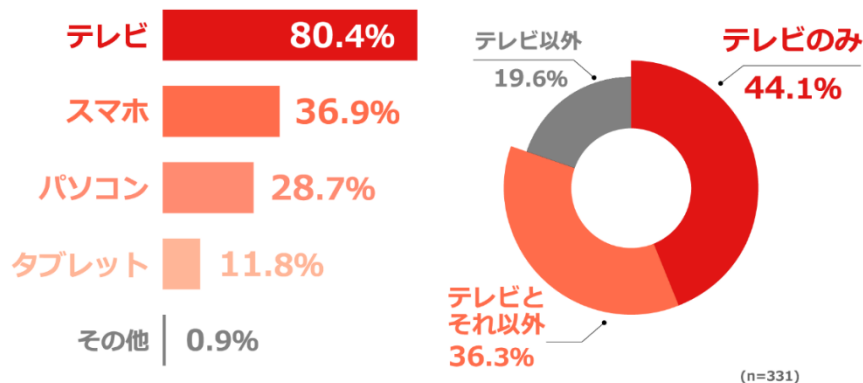
調査方法:インターネット調査

調査対象:週に 1 回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している 20 代~60 代の男女

調査人数:331 名

モニター提供元:RC リサーチデータ

映像でプロ野球観戦をする際、
最もよく使用するデバイスを選んでください。(複数選択可)



調査期間：2025/3/11-2025/3/13・調査方法：インターネット調査・調査人数：331名
調査対象：週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女
モニター提供元：RCリサーチデータ

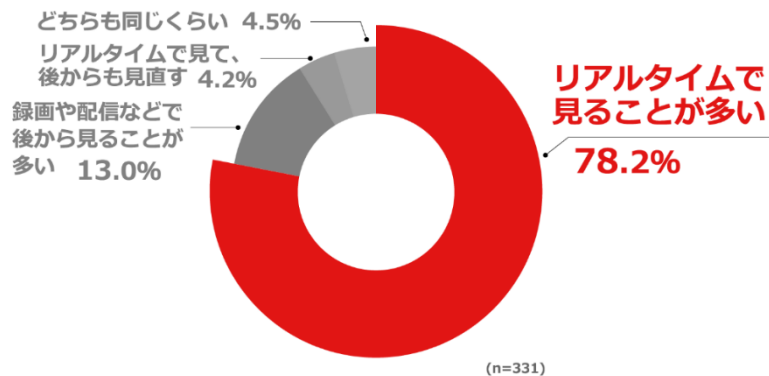
(n=331)

J:COM

映像でのプロ野球観戦では、8割以上の方が「テレビ」を使用。約4割の人は、テレビと他のデバイスを併用して視聴している

「映像でプロ野球観戦をする際、最もよく使用するデバイス」を尋ねる設問への回答では、1位の「テレビ」が80.4%で、「テレビ」で視聴している人が圧倒的に多いことがわかりました。尚、デバイスの利用状況を見てみると「テレビのみ」が44.1%、「テレビとそれ以外」が36.3%、「テレビ以外」が19.6%という結果で、テレビと他のデバイスを併用してプロ野球を観戦している人は約4割に上ることが明らかになりました

映像でプロ野球観戦をする際、リアルタイム視聴かディレイ(後から)視聴、どちらのスタイルで見る人が多いですか。



調査期間：2025/3/11-2025/3/13・調査方法：インターネット調査・調査人数：331名
調査対象：週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女
モニター提供元：RCリサーチデータ

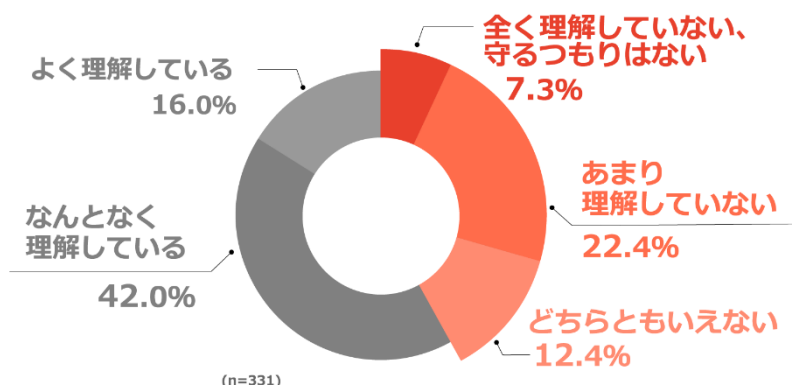
(n=331)

J:COM

映像でプロ野球観戦をする際、「リアルタイム」で見る人が圧倒的に多い

次に「映像でプロ野球観戦をする際、リアルタイム視聴かディレイ(後から)視聴、どちらのスタイルで見る人が多いか」を尋ねる設問の回答では、1位が「リアルタイムで見る人が多い」で78.2%、2位が「録画や配信などで後から見る人が多い」で13.0%、3位が「どちらも同じくらい」で4.5%という結果になりました。映像でプロ野球観戦をする際には「リアルタイムで見る人が多い」という人が圧倒的多数であることが判明しました。

2025年2月に変更された、プロ野球観戦時の
写真・動画のSNS投稿に関する新ルールを理解していますか。



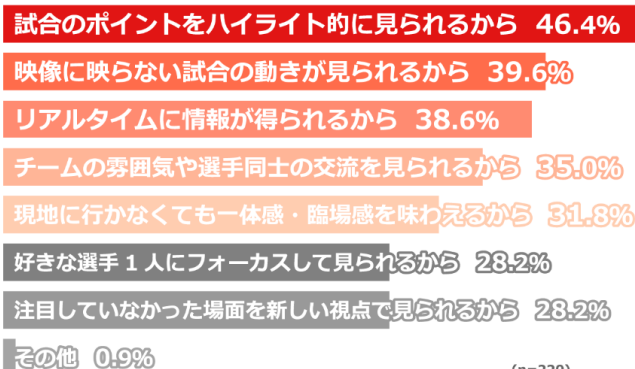
調査期間：2025/3/11-2025/3/13・調査方法：インターネット調査・調査人数：331名
調査対象：週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女
モニター提供元：RCリサーチデータ

J:COM

2025年2月に変更されたプロ野球観戦時の写真・動画のSNS投稿に関する新ルールについて
約4割は十分に理解していない。

続いて「2025年2月に変更された、プロ野球観戦時の写真・動画のSNS投稿に関する新ルール（球場で観戦者が撮影した写真・動画などについて、家族や友人など特定の者以外に向けて配信・送信することを禁止）を理解しているか」を問う設問への回答では、1位が「なんとなく理解している」で42.0%、2位が「あまり理解していない」で22.4%、3位が「よく理解している」で16.0%という結果になりました。この結果から、理解している人の割合が過半数を超えたものの、約4割の人は2025年2月に変更された、プロ野球観戦時の写真・動画のSNS投稿に関する新ルールを十分に理解していないことがわかりました。

SNSでプロ野球関連の写真や動画を見ていた理由は
何ですか。（複数選択可）



調査期間：2025/3/11-2025/3/13・調査方法：インターネット調査・調査人数：331名
調査対象：週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女
モニター提供元：RCリサーチデータ

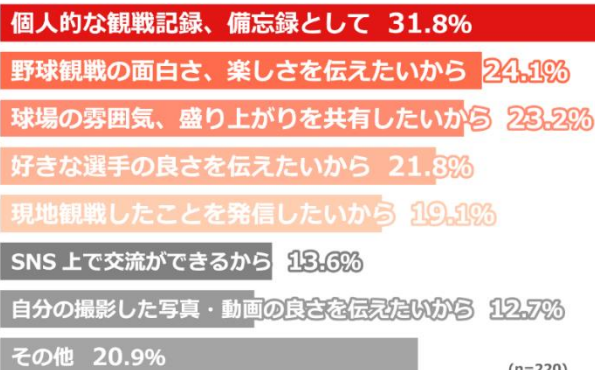
J:COM

SNSでプロ野球関連の写真や動画を見ていた理由 1位「試合のポイントをハイライト的に見られるから」、2位「映像に映らない試合の動きが見られるから」、3位「リアルタイムに情報が得られるから」

次に、プロ野球観戦時、写真・動画のSNS投稿を見ていた、もしくはSNSにアップしていたと回答された方に「SNSでプロ野球関連の写真や動画を見ていた理由」を尋ねる設問の回答で多かったのは、1位が「試合のポ

イントをハイライト的に見られるから」で 46.4%、2 位が「映像に映らない試合の動きが見られるから」で 39.6%、3 位が「リアルタイムに情報が得られるから」で 38.6%という結果になりました。

SNS でプロ野球関連の写真や動画をアップしていた理由は何ですか。(複数選択可)



調査期間：2025/3/11-2025/3/13・調査方法：インターネット調査・調査人数：331名
調査対象：週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女
モニター提供元：RCリサーチデータ

J:COM

SNS でプロ野球関連の写真や動画をアップしていた理由 1 位「個人的な観戦記録、備忘録として」、2 位「野球観戦の面白さ、楽しさを伝えたいから」、3 位「球場の雰囲気、盛り上がりを共有したいから」

プロ野球観戦時、写真・動画の SNS 投稿を見ていた、もしくは SNS にアップしていたと回答された方に「SNS でプロ野球関連の写真や動画をアップしていた理由」を尋ねる設問への回答で多かったのは、1 位が「個人的な観戦記録、備忘録として」で 31.8%、2 位が「野球観戦の面白さ、楽しさを伝えたいから」で 24.1%、3 位が「球場の雰囲気、盛り上がりを共有したいから」で 23.2%という結果になりました。

まとめ

今回の調査により、週に1回以上スポーツ観戦をする習慣があり、プロ野球チームを応援している20代～60代の男女の8割以上が、映像でのプロ野球観戦では「テレビ」を使用しており、約4割の人は、テレビと他のデバイスを併用して観戦していることがわかりました。また、視聴の仕方については「リアルタイム」で見ると圧倒的に多いことが明らかになりました。「テレビ離れ」が指摘される昨今においても野球観戦においてはテレビ視聴、リアルタイム視聴の根強い人気が見えます。

また、プロ野球観戦時の写真・動画の SNS 投稿に関する新ルールを理解状況について調査した結果、前述の対象者においては過半数が理解しているものの、約4割は十分に理解していないことが判明しました。プロ野球観戦時、写真・動画の SNS 投稿を見ていた、もしくは SNS にアップしていた人が、SNS でプロ野球関連の写真や動画を見ていた理由には、「ハイライト的に見られる」こと、「映像に映らない試合の動きが見られる」ことなどが挙げられ、試合だけではなく+αの価値を期待している人が多く見られました。

J:COM は、プロ野球など、プロスポーツを専門としたチャンネルをはじめ、厳選した42ch以上の専門チャンネルとJ:COMの動画配信がセットで楽しめる「J:COM TV シン・スタンダード」を提供しています。2025年シーズンもセ・パ12球団の公式戦を、全試合生中継での放送が決定。試合中継以外にも関連番組が充実しており、現地で観戦できない時もテレビやスマホ・タブレットで広く深く野球をお楽しみいただけます。

調査実施会社

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

JCOM 株式会社

所在地: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワーN 館

代表者: 代表取締役社長 岩木 陽一

事業内容: ケーブルテレビ局の統括運営を通じた有線テレビジョン放送事業及び電気通信事業、ケーブルテレビ局及びデジタル衛星放送向け番組供給事業統括 等

URL: <https://www.jcom.co.jp/>

J:COM は、2025 年シーズンも公式戦を全試合生中継で放送。J:COM TV シン・スタンダードならセ・パ 12 球団の中継をテレビでもスマホでもお楽しみいただけます。

URL: <https://www2.myjcom.jp/npb/guide/index.php>

○プロ野球公式戦全試合生中継で放送

2025 年シーズンもセントラル・リーグ、パシフィック・リーグ 12 球団の公式戦を全試合生中継で放送。

公式戦に比べ、春季キャンプ、オープン戦、ファーム戦、クライマックスシリーズなど、シーズンを通じてあらゆるプロ野球コンテンツを生中継。

○テレビはもちろんスマホでも

地上波、BS、CS 全チャンネルのプロ野球放送を網羅した「J:COM プロ野球アプリ」を利用することで、見たい試合を移動中や外出先でもスマホ・タブレットでもワンタッチで視聴可能。

○試合以外のコンテンツも充実

公式戦以外のプロ野球関連番組も放送中。試合のハイライトや解説、チームに密着したドキュメンタリーなど、中継には収まりきれない+αの情報も各種放送。



創立 30 周年を記念して特設ページを公開しております: <https://www.jcom.co.jp/special/30th/>